



スマートフォン利用者の関与別の特徴 -モバイル利用のライフスタイル研究-

○小島誠也 NTTドコモ モバイル社会研究所
飽戸弘 東京大学名誉教授

■ スマホとの付き合い方は様々

- スマホ利用によって生活が豊かになったり快適になったりした人がある一方で、そういった効果を感じていない人もいる。
 - 60歳台の25.7%、70歳以上の57.8%がスマートフォン等を利用できていない（2021, 内閣府）
- スマホに夢中になっている人もいれば、夢中ではない人もいる。
 - 高校生の4割超が「ひまさえあればスマホでネットを利用している」（2014, 総務省）
- スマホは多くの年代で必需品となっている。（下図）

図1. 破損・紛失した際に困るもの1～3位（2022, NTTドコモ モバイル社会研究所）

順位	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
1位	スマートフォン 56%	スマートフォン 50%	スマートフォン 45%	スマートフォン 39%	スマートフォン 34%	スマートフォン 32%	身分証 (免許証、保険 証など) 25%
2位	身分証 (免許証、保険 証など) 16%	身分証 (免許証、保険 証など) 18%	身分証 (免許証、保険 証など) 20%	身分証 (免許証、保険 証など) 24%	身分証 (免許証、保険 証など) 25%	身分証 (免許証、保険 証など) 25%	スマートフォン 22%
3位	銀行通帳・ キャッシュ カード 13%	家の鍵 10%	家の鍵 12%	家の鍵 12%	家の鍵 14%	クレジット カード 14%	クレジット カード 17%

目的・研究方法

利活用の程度や夢中度合い、必需品としての感覚の違い（関与）を調査することは、今後スマホとの良い付き合い方を考えるうえで重要であろう。



■本研究の目的

- スマホ利用における「利活用」の程度や「夢中」傾向といった関与の違いには、利用者のどのような特徴が関連しているのかを確認する

■方法

- スマホとの関与に関連する複数の設問から因子を抽出
- 因子得点をもとにユーザーを因子の特徴ごとにグループ化
- グループごとにその特徴を確認する
特徴： ユーザー属性、スマホ利用状況・意識など

■調査概要

調査方法	Web調査法
調査対象	全国 15歳～79歳の男女
有効回答数	5,652
標本抽出方法	QUOTA SAMPLING、性別・年齢（5歳刻み）・都道府県のセグメントで日本の人口分布に比例して割付しスマホ所有者を調査。調査結果からスマホ所有者比率に比例して再割付を実施。
調査時期	2023年2月

■設問

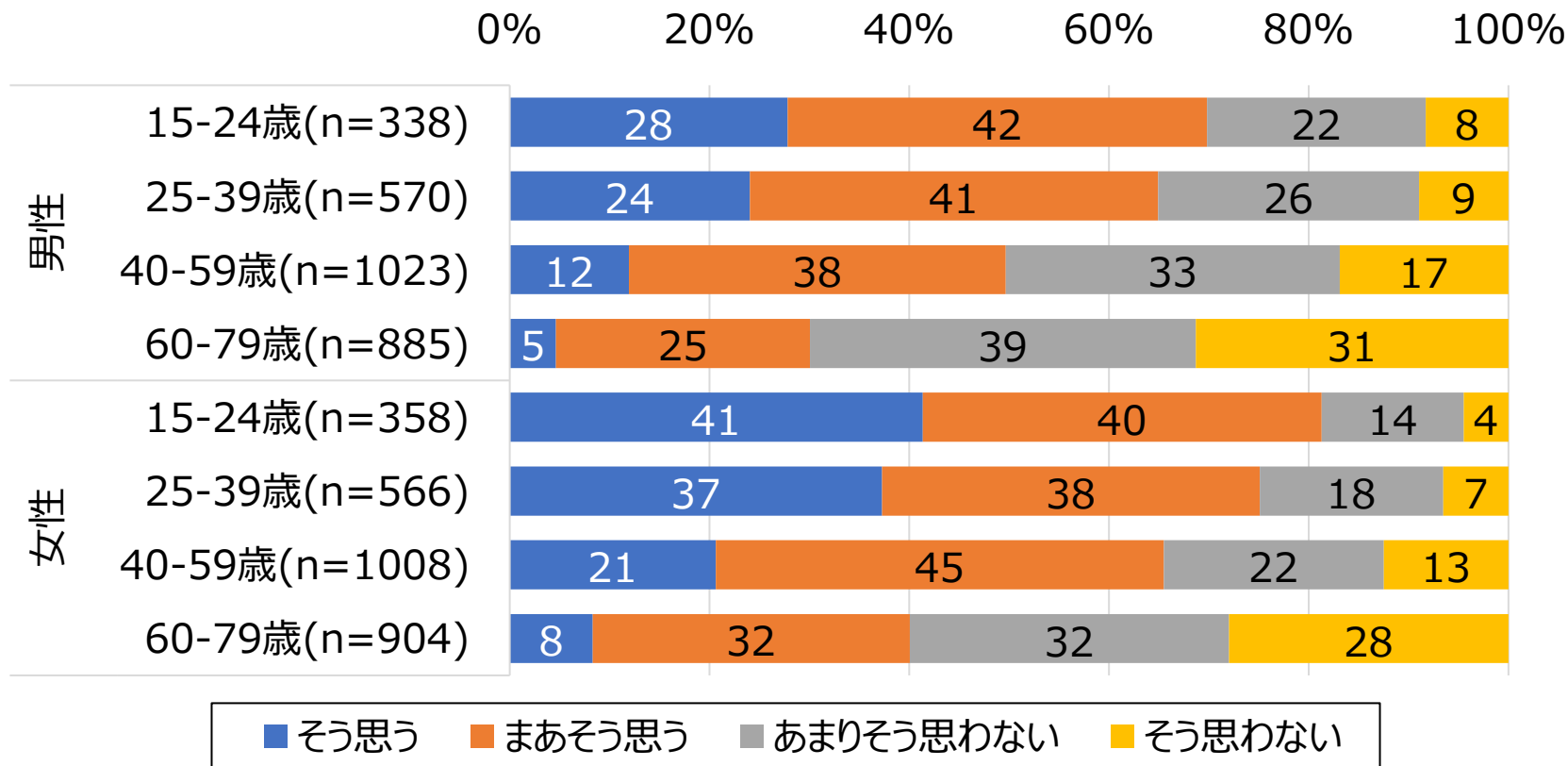
- 中川ら(1994)、遊橋ら(2013)の文献を参考に、スマホ関与を測る設問を作成

■分析手順

- 利活用の程度や夢中傾向に関する因子を抽出
- 析出した因子をもとにクラスタ分類
- クラスタごとの特徴を分析

- 若年層、女性が思っていたよりも長い時間スマホをしている割合が高い
10代～20代女性は8割超が「(まあ)そう思う」
- 70代男性は8割程度が「(あまり)そう思わない」

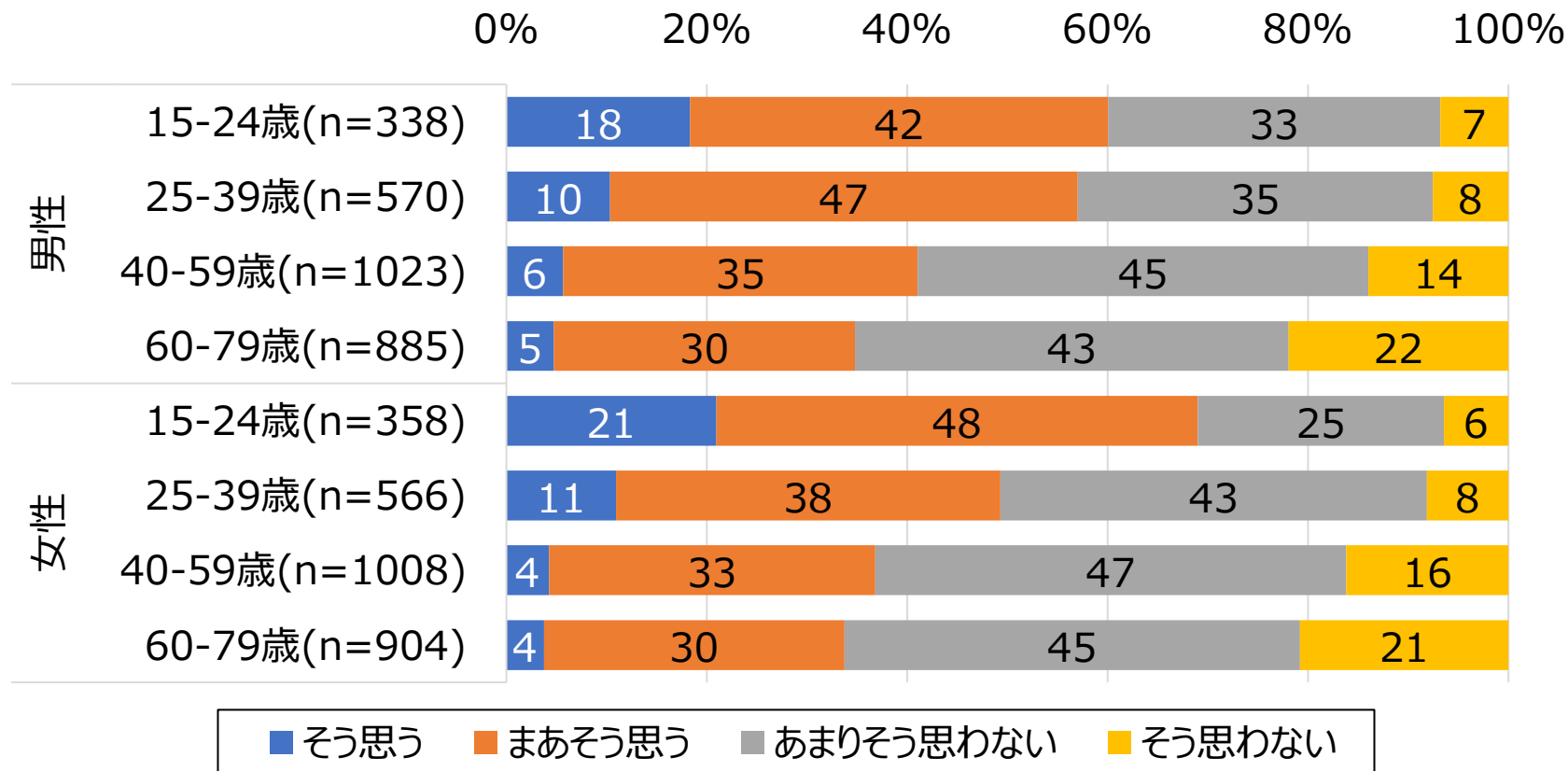
図. 「気がつくと、思っていたより長い時間スマートフォンをしていることがある」と思うか



利活用 「スマホをうまく使いこなしている」

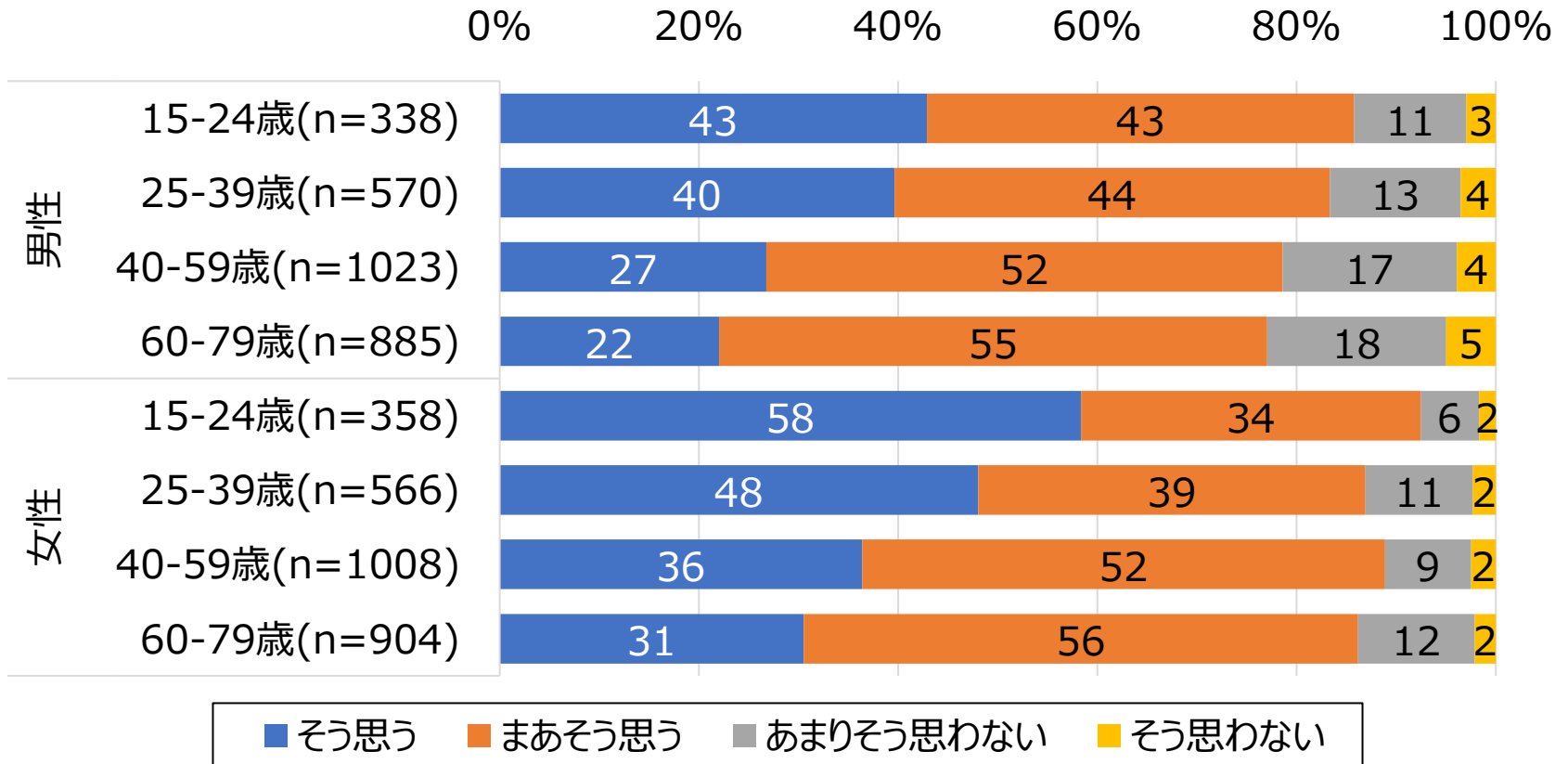
- 若年層は「(まあ)そう思う」割合が高い
- 15-24歳では女性、25-79歳では男性のほうが「(まあ)そう思う」割合が高い

図. 「スマホをうまく使いこなしている」と思うか



- 全年代で「(まあ)そう思う」割合が高い
- 各年代で女性のほうが「そう思う」割合が高い

図. 「スマホが破損、紛失などで使えなくなると困る」と思うか



因子分析 設問と選択肢

■ 設問

10設問について回答を取得

1	気がつくと、思っていたより長い時間スマートフォンをしていることがある
2	特に目的もなくスマートフォンを触っていることがある
3	スマートフォンを使っていると、つい夢中になってしまう
4	スマートフォンに連絡・通知が来ていないか、ついつい確認してしまう
5	スマートフォンが破損、紛失などで使えなくなると困る
6	スマートフォンを使うと、日常生活を快適に過ごせる
7	スマートフォンは自分にとってなくてはならない
8	スマートフォンをうまく使いこなしている
9	スマートフォンの機能やサービスを知っている
10	スマートフォンを利用することは、自分のためになる

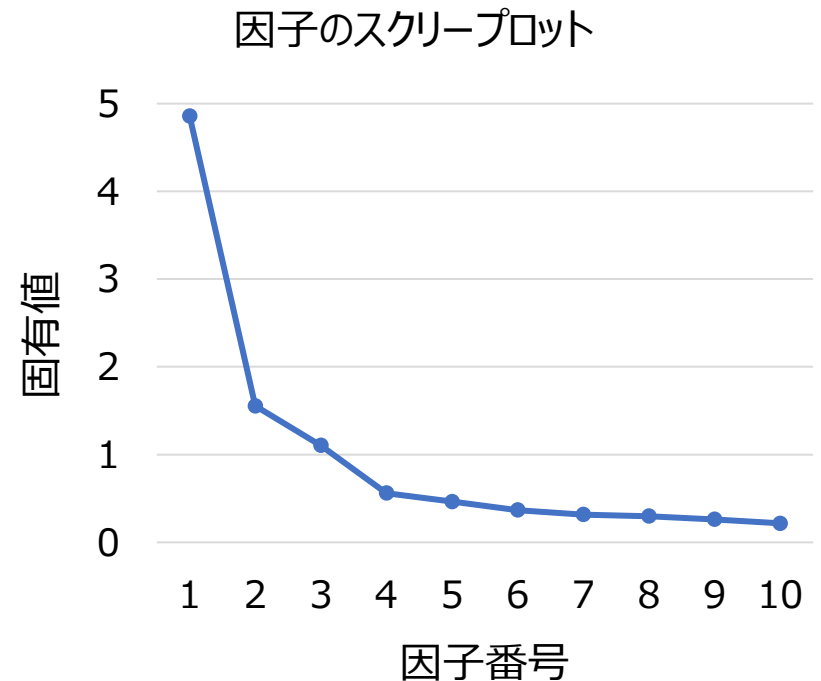
■ 選択肢

4件法： そう思う、まあそう思う、あまりそう思わない、そう思わない

因子分析 結果

- 10設問から因子分析により3因子を抽出

	因子		
	夢中	必需	利活用
思っていたより長い時間使用していることがある	0.93	0.00	-0.05
特に目的もなく触っていることがある	0.90	-0.05	-0.05
使っていると、つい夢中になってしまう	0.62	0.02	0.20
連絡・通知が来ていないか、ついつい確認してしまう	0.59	0.09	-0.02
破損、紛失などで使えなくなると困る	0.00	0.87	-0.10
スマホを使うと、日常生活を快適に過ごせる	-0.02	0.82	0.04
自分にとってなくてはならない	0.08	0.81	-0.02
うまく使いこなしている	-0.03	-0.07	0.89
機能やサービスを知っている	0.05	-0.09	0.87
利用することは、自分のためになる	-0.07	0.34	0.50



回転後の累積寄与率：65.5%

因子抽出法：主因司法
 回転法：Kaiser の正規化を伴うプロマックス法

• 3因子から5クラスタに分類

- 高関与： 「夢中」「必需」「利活用」のすべてが高い
- 夢中： 「夢中」が高い
- 利活用： 「利活用」が高く、「夢中」が低い
- 低関与： 「夢中」「必需」「利活用」が低い
- 超低関与： 「夢中」「必需」「利活用」がかなり低い

	クラスタ				
	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与
因子1 夢中	1.16	0.51	-0.68	-0.64	-1.47
因子2 必需	1.16	0.18	0.13	-0.62	-1.90
因子3 利活用	1.04	-0.04	0.64	-0.68	-1.60
サンプル数	1046 (18.5%)	1833 (32.4%)	946 (16.7%)	1420 (25.1%)	407 (7.2%)

	分散分析					
	クラスタ		誤差		F 値	有意確率
	平均平方	自由度	平均平方	自由度		
因子1 夢中	951.683	4	0.237	5647	4019.819	0.000
因子2 必需	872.139	4	0.270	5647	3231.315	0.000
因子3 利活用	804.615	4	0.296	5647	2720.871	0.000

- ① 「高関与」は男女とも15～39歳の割合が高い
- ② 「夢中」は25～39歳男女および40～59歳女性の割合が高い
- ③ 「利活用」は40～59歳男性および60～79歳男女の割合が高い
- ④ 「低関与」は60～79歳男女の割合が高い

		1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
男性	15-24歳	27.9%	13.5%	8.3%	6.5%	4.9%	12.0%
	25-39歳	35.6%	25.2%	14.0%	14.2%	9.9%	20.2%
	40-59歳	27.2%	39.9%	36.8%	39.7%	28.4%	36.3%
	60-79歳	9.4%	21.5%	40.9%	39.5%	56.8%	31.4%
	全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

女性	15-24歳	27.9%	10.8%	9.9%	4.8%	3.0%	12.6%
	25-39歳	33.0%	20.3%	13.2%	13.0%	12.8%	20.0%
	40-59歳	27.3%	43.9%	29.8%	35.3%	30.5%	35.5%
	60-79歳	11.8%	25.0%	47.1%	46.9%	53.7%	31.9%
	全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

緑色セルは調整済み残差 > 1.96、赤色セルは調整済み残差 < -1.96 (=有意水準5%)

① 「高関与」、「低関与」はタブレットとパソコンの所有傾向が逆

高関与： **タブ所有、パソコン非所有**

低関与： **タブ非所有、パソコン所有**

② 「夢中」はタブもパソコンも専用のものは持たない

③ 「利活用」はタブもパソコンも専用のものを持つ

タブレットの所有状況	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
自分専用のものである	28.7%	21.3%	29.5%	19.0%	13.0%	22.9%
共有のものである	12.9%	10.4%	8.4%	7.8%	2.9%	9.3%
持っていない	58.4%	68.4%	62.2%	73.2%	84.0%	67.8%
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%



パソコンの所有状況	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
自分専用のものである	53.3%	53.1%	72.0%	60.8%	68.1%	59.3%
共有のものである	21.0%	22.6%	17.4%	21.2%	11.8%	20.3%
持っていない	25.6%	24.2%	10.6%	18.0%	20.1%	20.3%
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

緑色セルは調整済み残差>1.96、赤色セルは調整済み残差<-1.96 (=有意水準5%)

クラスタ分析 詳細 (スマホでもっとも行っていること)

- ① コミュニケーション： **高い** = 「利活用」「低関与」、**低い** = 「高関与」「夢中」
- ② 趣味・娯楽： **高い** = 「高関与」「夢中」、**低い** = 「利活用」「低関与」
- ③ 暇つぶし： **高い** = 「夢中」「超低関与」、**低い** = 「利活用」

もっとも行っていること	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
コミュニケーション	14.4%	16.3%	25.4%	27.5%	33.7%	21.5%
情報検索、ニュース閲覧	24.5%	33.0%	36.7%	30.1%	20.9%	30.4%
情報発信	1.8%	1.3%	1.9%	1.3%	1.2%	1.5%
生活関連 (買い物、健康管理等)	3.3%	3.1%	4.7%	4.0%	2.9%	3.6%
勉強・自己研鑽	2.1%	1.5%	1.6%	1.5%	0.5%	1.5%
趣味・娯楽	31.9%	23.4%	18.0%	14.4%	9.1%	20.8%
暇つぶし	20.7%	20.7%	9.8%	19.6%	27.8%	19.1%
その他	1.1%	0.8%	2.0%	1.5%	3.9%	1.5%
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

緑色セルは調整済み残差 > 1.96、赤色セルは調整済み残差 < -1.96 (=有意水準5%)

- ① 役に立っている時間が多いのは「高関与」「利活用」
- ② 楽しい時間の割合は「高関与」「夢中」「利活用」の順で高い

役に立っている時間	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
8割以上	24.6%	11.2%	19.0%	12.4%	8.1%	15.1%
6割～8割未満	17.6%	16.9%	16.3%	10.3%	4.9%	14.4%
4割～6割未満	26.0%	30.6%	26.5%	24.1%	8.8%	25.8%
2割～4割未満	19.4%	23.0%	18.9%	21.6%	13.3%	20.6%
2割未満	12.4%	18.3%	19.2%	31.6%	64.9%	24.1%
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

楽しい時間	1. 高関与	2. 夢中	3. 利活用	4. 低関与	5. 超低関与	全体
8割以上	39.9%	18.3%	17.9%	10.9%	6.1%	19.5%
6割～8割未満	24.5%	21.1%	15.8%	11.8%	3.9%	17.3%
4割～6割未満	21.6%	33.3%	25.5%	24.2%	9.6%	25.8%
2割～4割未満	8.7%	15.9%	19.0%	17.7%	11.5%	15.2%
2割未満	5.4%	11.4%	21.9%	35.3%	68.8%	22.2%
全体	100%	100%	100%	100%	100%	100%

緑色セルは調整済み残差 > 1.96、赤色セルは調整済み残差 < -1.96 (=有意水準5%)

まとめ・考察

●高関与

タブレットを活用しているが、パソコンは持たない ⇒ **パソコンでやる作業はスマホで代替している**
 趣味・娯楽に活用し、**スマホ利用時間の多くが役に立つ時間、かつ、楽しい時間**

●夢中

情報検索や趣味・娯楽、**暇つぶし**にスマホを利用

⇒ **高関与群に比べて暇つぶしの時間が多いため、役に立つ時間や楽しい時間の割合が低い**

●利活用

タブレットもパソコンも専用のもを持つ ⇒ **デバイスを用途によって使い分け（スマホはコミュニケーション）**
 有益な時間の割合が高く、楽しい時間の割合は低い ⇒ **趣味的なことにはあまり使わず、実利を得ている**

●低関与、超低関与

パソコンは専用のもを所有 ⇒ **スマホではなくパソコンで作業を代替している**

スマホはコミュニケーションか暇つぶしに利用 ⇒ **利用に目的・意図がなく、有益な時間や楽しい時間が少ない**

	高関与	夢中	利活用	低関与、超低関与
性年代	15～39歳男女	25～39歳男女 40～59歳女性	40～59歳男性 60～79歳男女	40～59歳男性 60～79歳男女
タブレット・パソコンの所有	タブ：専用、共用 パソ：非所有	タブ：- パソ：共用、非所有	タブ：専用 パソ：専用	タブ：非所有 パソ：専用
スマホで最も行うこと	趣味・娯楽	情報検索 趣味・娯楽 暇つぶし	コミュニケーション 情報検索	コミュニケーション 暇つぶし
スマホ利用時間分類	役に立つ：6～10割 楽しい：6～10割	役に立つ：2～8割 楽しい：4～8割	役に立つ：8～10割 楽しい：2～4割	役に立つ：0～2割 楽しい：0～4割

内閣府政府広報室 (2021). 「情報通信機器の利活用に関する世論調査」. 内閣府.
https://survey.gov-online.go.jp/hutai/r02/r02-it_kiki.html , (参照 2023-08-04)

総務省情報通信政策研究所 (2014). 「高校生のスマートフォン・アプリ利用とネット依存傾向に関する調査 報告書」. 総務省.
https://www.soumu.go.jp/main_content/000302914.pdf , (参照 2023-08-04)

中川秀和 (1994). 「購買行動と関与」『消費行動の社会心理学』植村出版, pp.120-151 .

遊橋裕泰・本條晴一郎・飽戸弘 (2013). 「スマートフォン利用へのライフスタイルアプローチ (2) - 製品関与の構造と類型 - 」『日本行動計量学会第41回大会抄録集』, pp.8-9 .